

みやの地域づくりだより

MIYANO



第3号

発行：宮野地区地域づくり協議会（宮野地域交流センター内） 平成26年3月31日発行
 事務局：山口市宮野下3054 TEL：928-0250 FAX：928-0302
 e-mail：miyanoti@c-able.ne.jp 一紙園裸坊の皆さん—

みんなに、やさしい、のびゆくまちづくり

宮野地区地域づくり協議会は、自然豊かな「みやの」に住む皆さんが、安心して住みやすい「宮野づくり」を目指して、地域の課題解決に向けて各種事業に取り組んでいます。

「農村型・都市型の混住地区」となっている宮野地区は、住民のニーズも多様化していることから宮野の地域づくりの両輪のひとつである「山口県立大学」との連携を図り、子どもさんから高齢者まで幅広く参加できる事業を企画しています。

地域を包括する「地域づくり協議会」とは

自治会を中心として様々な地域の団体が連携し、「地域の課題解決」や「地域の取りまとめ」、「地域の特性や資源を活かした地域づくり」に取り組む主体が「地域づくり協議会」です。

現在、山口市内21地域の全てに地域づくり協議会が組織されています。

宮野地域では、平成21年に「山口市宮野地区地域づくり協議会」が設立され、今日に至っています。

山口市協働によるまちづくり
 キャラクター「キョードーレッド」



「地域づくり協議会」の活動は

地域づくり協議会が活動をするに当たっては、地域の良さや課題を把握した上で、将来どのような地域を目指すのか、またそのためにどのような取り組みをするのかといった内容の活動計画を立て、それに基づき活動を行うことが有益です。

このようなことから、各地域においては活動の指針となる「地域づくり計画」が策定されています。

宮野地域でも、設立と同時に5年間（平成21年～平成25年）の「宮野地区地域づくり計画」が策定されています。第2期計画策定のため、地域の皆様にアンケート調査を実施し集計を行っています。

「地域づくり協議会」の活動費は

地域づくり協議会が地域づくり計画に基づいた活動を円滑に行うためには、活動費が必要になってきます。そこで山口市では、地域づくり計画に基づき実施される「地域の課題を解決するための活動」や「組織運営を担う事務局経費」などに対して、「地域づくり交付金」を交付しています。



宮野地区地域づくり協議会への交付金

（平成21年～24年は実績・平成25年度は予算）

平成21年度	1,000,000円
平成22年度	10,084,472円
平成23年度	9,658,853円
平成24年度	9,950,867円
平成25年度	12,872,000円

- * 事業実績に応じて交付されます
- * 繰り越しはできません
- * 予算には、自主財源が加わります

平成25年度事業の進捗について

(1) 地域振興

内容

- 新たな公共ニーズへの対応
 県立大学生と地域住民の交流会を実施しました
 地域の皆さんと学生と一緒に料理をつくり交流を図りました
 「着物喫茶」・「まち歩き企画」へ参加し支援しました
 学生により運営されている2企画を支援しました
 高齢者にやさしいコミュニティ交通体系の確立と普及活動を推進しました
 2停留所に「ふれあいベンチ」を設置しました
- 地域活性化を推進しました
 公共施設の機能充実と強化を推進しました
- 広報活動の充実
 地域住民及び市民に的確な情報提供を行いました
 ホームページを立ち上げました
 「みやの地域づくりだより」を発行しました
- 地域資源発掘事業
 地域に眠っている資源を発掘し産業化への可能性を調査・研究しました
 宮野の花会の活動支援をしました



内容

- ・第2期「地域づくり計画」策定
地域課題の把握、取り組み活動を見直すため、アンケートを実施し状況を調査しました

地域住民と県立大学生の交流



宮野の地域づくりの両輪である「山口県立大学」の学生＆「地域住民」の交流会を実施しました。

11月には、交流センターを利用して「一緒に料理し、一緒に食べて」の日頃できない交流をはかりました。学生さん達の地域デビューとなりました。

恒例となった？「宮野駅舎」での「着物喫茶&徒歩ツアー」は多くの参加者があり、お茶をいただきながらの交流ができました。

また、学生ガイドによる「寺内正毅公ゆかりの地を巡るツアー」も多くの参加者があり改めて宮野を発見しました

(2)地域福祉

内容

- ・子どもから高齢者までの世代間交流と人材発掘を行ないました
三世代グラウンドゴルフ大会
運だめしふれあいボウリング大会
注連縄づくり
高齢者に指導いただき、三世代交流を推進しました
- ・地域福祉に関する講演会を開催しました
山口市の社会福祉計画や活動をわかり易く聞くことができました
「宮野のいいところを伝えよう」とグループワークで再確認をしました
- ・救命講習会を開催しました
大事な人を救うため、知識と技術を学びました
- ・はつらつ健康増進を推進しました
高齢者の運動不足解消のためにスポーツ大会等を実施する団体に支援しました



(3)安心安全

内容

- ・子どもの安全対策を推進しました
「宮野キッズ守り隊」の組織強化と見守り活動の啓発を行いました
「こども110番の家」の拡充と推進を行いました
- ・防災対策を推進しました
自主防災組織設立の講演会を開催し、啓発普及を行いました
子ども達の災害に対する認識を深める「防災体験教室」を開催しました
消火体験・煙避難体験等々を学習しました
- ・反射鏡設置事業
交通事故発生危険箇所への反射鏡の設置及び修復経費を補助し
事故防止を図りました
- ・交通安全教室を開催しました
子育て世代及び高齢者を対象に交通安全教室を開催し、正しい自転車の乗り方
夜間のウォーキングのあり方を学習しました



「宮野キッズ守り隊」活動



見守り
びっす

「地域の子どもは地域で守る」

見守り活動をとおして、地域の皆さんの繋がりを深め、子ども達に「安心・安全」を伝えよう。無理のない活動を目指しています。参加希望者はこちらまでご連絡ください。



防災体験教室



7月28日豪雨災害発生！

キャンプが中止となり、下関市消防防災学習館「火消鯨」で体験学習を行いました。地震への備え・消火体験・煙避難体験・通報体験等を学習しました。



(4)環境づくり

内容

- ・土木工事を実施しました
里道・水路（赤線・青線）や山口市名義の団地内道路等を
地元で整備維持するために要する経費を補助しました
- ・地域環境整備を補助しました
ボランティアによる里道等の補修（簡易舗装）等を行う場合に
原材料支給を行いました
- ・自然地域環境美化を推進しました
9月を「みやのクリーン月間」と定め、地域で清掃活動を実施しました
自然環境の保全を推進している団体へ支援しました
交流センターの美化維持活動を実施しました
- ・さくらの里づくりを推進しました
自主的なボランティア活動でさくらの植樹、保育、害虫駆除及び整備を
行っている団体や町内会に対し、資材等を支援しました
- ・木戸山公園整備を推進しました
四季を通じて安心・安全に楽しむため、花木の植樹や環境整備を実施し
3ヶ年計画でデッキを全面的に再整備しました

《法定外公共物等整備事業》
詳細は、後のページで紹介



木戸山公園整備



「憩いの広場」として、四季を通じて安心・安全に楽しむため、花木の植栽や公園環境整備及びデッキの整備を行いました
当初設置されていたデッキの損傷が激しく、平成23年度から3ヶ年計画ですべてのデッキを再整備しました。

センターの美化活動



利用される皆さんが四季をとおして楽しめるように花壇等の美化管理を行いました
夏には、リュウキュウアサガオで「緑のカーテン」に挑戦したのですが・・・



(5)地域個性創出

内容

- ・文化伝統事業を支援しました
地域をはじめ、山口市内の伝統行事への参加と伝統文化の伝承を図り支援しました
- ・自然と親しみ、健康づくりを推進しました
ふれあい登山 in 涼み山
宮野湖周辺ウォーキング
石州街道ウォーキング
- ・歴史・文化・自然写真コンテスト
宮野の名所、旧跡、自然、文化等を題材とした写真を募集し
地域の素晴らしいところを再発見することを推進しました
センター以外での展示会を実施しました
- ・スポーツ振興を推進しました
ニュースポーツ大会を開催し普及・交流を実施しました
子ども達のスポーツ振興団体を支援しました
- ・自然体験活動を推進しました
自然体験活動の拠点となる施設等の充実を資材の提供で支援しました
自然体験教室を開催しました
竹炭焼き体験教室を開催し親子で体験学習し自然に触れました
- ・名所旧跡等の整備を推進しました
新名所の掘起しや探索道の整備に向けた調査を実施しました
みやの滝めぐりルートの開発
- ・見聞を広める学習会を実施しました
社会教育の一環として「見て、聞いて、体験して」見聞を深めました
岩国錦帯橋空港等の視察研修を行いました



歴史・文化・自然写真コンテスト

石州街道ウォーキング



秋のウォーキング
宮野地域を縦断する「旧石州街道」名所旧跡の多い街道筋を訪れ、歴史の勉強と交流をはかりました



応募数 43点 最優秀賞 「希望の架け橋」 吉岡敬介氏

土木工事の紹介

『法定外公共物等事業』
ってなんですか？

『法定外公共物等整備事業』は、
山口市が所有する道路や水路を
関係住民の皆さんが整備したり
修理補修した時に補助する制度
なんですよ。
気になるところがあったら“ど
しどし”相談してくださいね。



《選考委員会》

本協議会では、道路や水路の整備を行う申請者に対して予算
の範囲内で補助金を支出しています。

選考委員会を8月に開催し、「危険性」「緊急性」「重要性」を
考慮して交付を決定しました。

施工完了は、年度内となっています。



- ◆岩杖地区 水路改修
- ◆熊坂地区 水路改修
- ◆中恋路地区 水路改修
- ◆石丸地区 水路改修
- ◆上桜畠地区① 水路改修



- ◆上桜畠地区② 水路改修
- ◆住吉地区 水路改修
- ◆江良地区① 道路舗装
- ◆江良地区② 道路改良
- ◆泉地区 簡易舗装

主な事例を紹介します

道路舗装 江良地区①



水路改修 上桜畠地区①



第2期「宮野地区地域づくり計画」について

宮野地区地域づくり協議会の設立と同時に、第1期「宮野地区地域づくり計画」（平成21年度～25年度5か年間）が策定をされています。

本協議会では、これからの5年間（平成26年度～30年度）の「宮野づくり」の指針となる第2期「地域づくり計画」の策定を進めています。

この計画は、宮野の将来を見据えると共に、地域の現状を踏まえ、住民の皆さんの願い等の実現を目指す方途を示すこととしています。

策定にあたり、皆様の意見をお聞きする手法として、今年1月に各町内会を単位として18歳以上の地域在住の男女500名の方々に「アンケート調査」を実施いたしました。

ご協力いただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。

集計結果（意見を含む）を踏まえて、地域づくり協議会役員会で十分協議を重ね、第2期「地域づくり計画」の策定を進めてまいります。

計画が定まりましたら、皆様にご報告をする予定としています。

「地域づくり計画」の骨格について



I 地域の現状

- ① 地域の魅力・自慢
生活・環境項目
地域福祉項目
安心・安全項目
健康・体育項目
文化・伝統項目
- ② 地域の課題
上記5項目毎

II 地域の将来像

- ① キャッチフレーズ
みんなに
やさしい
のびゆくまちづくり
- ② 地域の活動により目指す具体的な将来像
5項目毎

III 活動の内容

《地域が主体となり
取り組むもの》

項目毎に具体的な活動内
容と実施予定年度を示す

—編集後記—

安心・安全で住みよい宮野にするため各部会で計画・実行・反省を行っています。「地区の課題」や「こんな事やってほしい」等々ありましたら、どしどし事務局にご連絡下さい。

なお、各種講座・事業等については随時、地区だより「みやの」に掲載いたしますのでご覧ください。